

東大阪

樟徳館 (旧森家住宅)

樟蔭学園の初代理事長の私邸として昭和14年に建設された。木造二階建ての建物には日本各地の銘木が使われた。応接室は、天井に楠の一枚板、柱は直径数メートルの檜から切り出した五寸角の四方柱、瀬戸で焼かせた暖炉、西陣織のクロス壁、ステンドグラス。洋風座敷は、桑の欄間で仕切られた床の間もある二間続きの和洋折衷の座敷で、広縁を通して



日本各地の銘木が使われた樟徳館

所在地：東大阪市菱屋西 2-4-12

最寄駅：近鉄奈良線河内小阪駅より南へ徒歩 20 分

近鉄大阪線長瀬駅より北へ徒歩 5 分

公開日：不定期

TEL：学校法人樟蔭学園 06-6723-8183

庭を臨む。仏間の天井は、一本の木から何枚も取れない吉野杉の中杓が使われた。食堂は、アールデコ調のシャンデリア、木彫のマントルピース、寄木造りのフローリング。贅を尽くし、木材の収集から竣工まで、7年の歳月を要した。和風木造建築に対する誇りと洋風建築に対する憧れを、内なる美意識によって折衷された様は、なんとも興味深い。平成12年10月には、国の登録文化財に指定された。(川北武志)